

有効な結果が得られる

蓋の手加工に依る折曲げ能率は工員一名毎分30枚平均であつたが本機の使用によつて60~80枚の加工が可能となり、機械操作の熟練に従つて送り込み速度を調整することで更に能率は向上される。

(3) テストホットプレスの研究試作

1. 担当者 研究員 永吉 忠之
2. 目的 接着強度テストピースの熱圧、成型圧力の測定その他の試験研究用として使用する。
3. 概要 温度及び圧力を規正することの出来る鑄鉄製熱圧プレスとして試験研究用に製作されたものである。
熱板は上下共鑄鉄製300耗平方で電熱1KWヒーターを内蔵し、温度調節器に依り所要温度50°C~150°Cに調整される。
加圧は経45耗角ねじ一本を手動にて環状力量計(マルトリング)を介して総圧3tonを加えることが可能である。
4. 成果 接着剤並びに接着構造強度測定用のテストピース製作の場合圧縮力と温度を変化させることが出来るので各種接着剤の性能及び接着加工方法等範囲の広い強度測定が可能となる。
また成型積層接着には温度の変化に伴う圧力の測定、あるいは積層の枚、単板の厚さ、二次曲面の曲率半径等の各種成型諸元に対する温度、圧力の測定が出来るものであり、これらの試験研究に一層の効果をもたらすものである。

(4)メラミン化粧板接着試験

1. 担当者 工業技師 松田 健一
2. 目的 新興材料の需要が各方面にわたり、急増している折柄、家具材料として占める比重も拡大され、各部分に用いられるに至つた
この様な新建材と呼ばれる樹脂加工板は釘打による加工法が不適である。従つて、必然的に接着剤による接合法がとられる。勿論、加工板専用の接着剤は、市販されてはいるが一般に木工用として使われている接着剤中から接着力及作業性を含めた試験を行い適合するものを選定し広く利用する事を目的とする
3. 概要 市販接着剤の内から、次の5種類を選定し、JIS規格に準用した平行滑脱